

ハ ナ ミ ズ キ



京田辺キャンパス香柏館前のハナミズキ

ミズキ科の落葉性小高木で、カナダからメキシコにかけて分布する。日本にある近縁種ヤマボウシにちなんだ、アメリカヤマボウシとも呼ばれる。英名 Flowering Dogwood、または Flowering Dogberry、**「花」**は美しいが材や果実があまり役立たないことによる。かなり耐寒性のある花木で、世界中の暖温带で観賞用に植えられる。春の終わり頃、葉が開くまえに枝一面に咲くので、観賞価値が高い。花弁のように見える四枚の艶やかなものは花群の下にある苞（ほう）で、ミズバショウやドクダミなどと同様である。苞は白色から淡紅色だが、まれに濃紅色のものもある。また、八重咲きの品種もある。

葉は弓なりに曲がった端正な葉脈を持ち、枝に対生するので、花のない時期でも容易に見分けられる。樹形はとくに手を加えなくても、整った美しい形に育つ。秋の紅葉も見事である。

一九二二（大正元）年、尾崎行雄東京市長がアメリカにサクラを寄贈したときに、その返礼として贈られた話は有名。しかし、日本への最初の渡来はそれより早く、明治中ごろのことである。

京田辺キャンパスにあるハナノキとならんで、日本とアメリカ東部に分布するハナミズキ類は、新島ゆかりの大学にふさわしい気がする。（53ページに関連記事）

光田 重幸

（大学理工学研究助教授）